



全国エコタウン大会
ゼロエミッション・フォーラム

平成20年11月12日(水)

中部国際空港セントレアホール

モノづくり愛知のエコタウンと
その展開

愛知県環境部長 藤井敏夫

愛知県の地域特性

県内総生産 35.8兆円（全国3位、全国シェア7.1%）
工業製造品出荷額等 43.6兆円（30年連続全国1位）
農業産出額 3,275億円（全国5位）

名古屋港 貿易額1兆4,900億円（6年連続日本一）
総取扱貨物量 2億600万ト（5年連続日本一）

世界に誇る、
「モノづくり」の基盤

バランスの取れた
産業構造

豊かな自然と
大都市圏が近接



産業廃棄物の状況

図 愛知県産業廃棄物発生量の推移

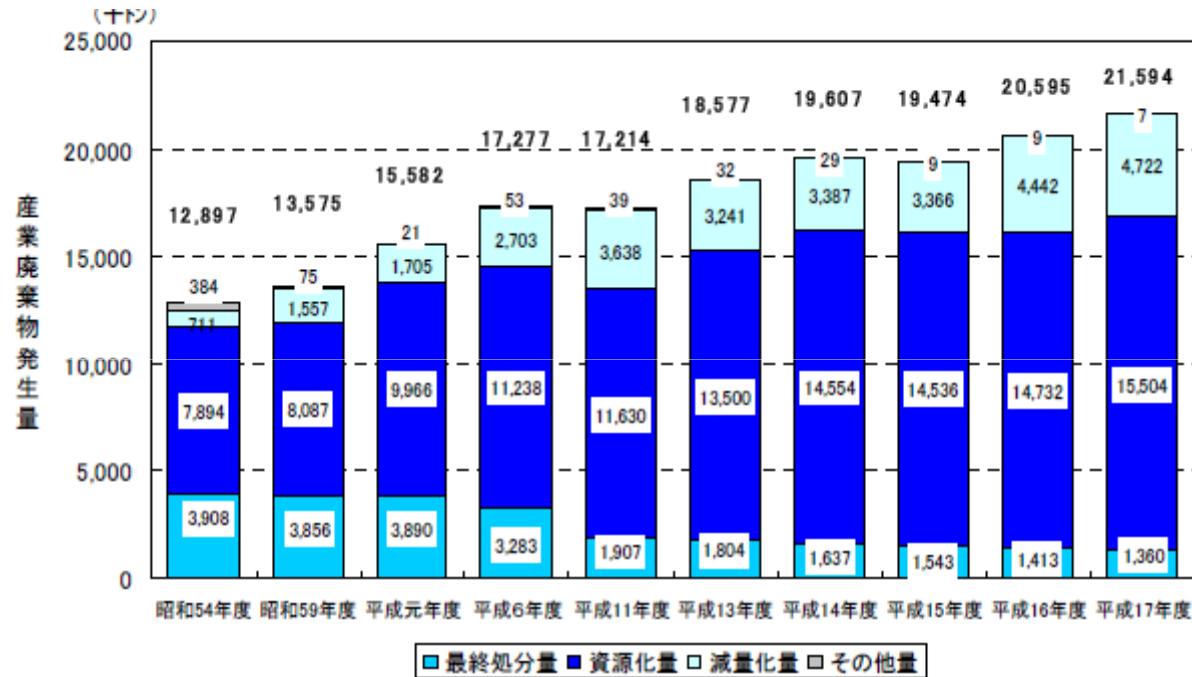


表 産業廃棄物の資源化率

年度	愛知県	全国平均
H. 11年度	68%	45%
H. 17年度	72%	52%

一般廃棄物の状況

図 愛知県的一般廃棄物発生量とリサイクル率の推移

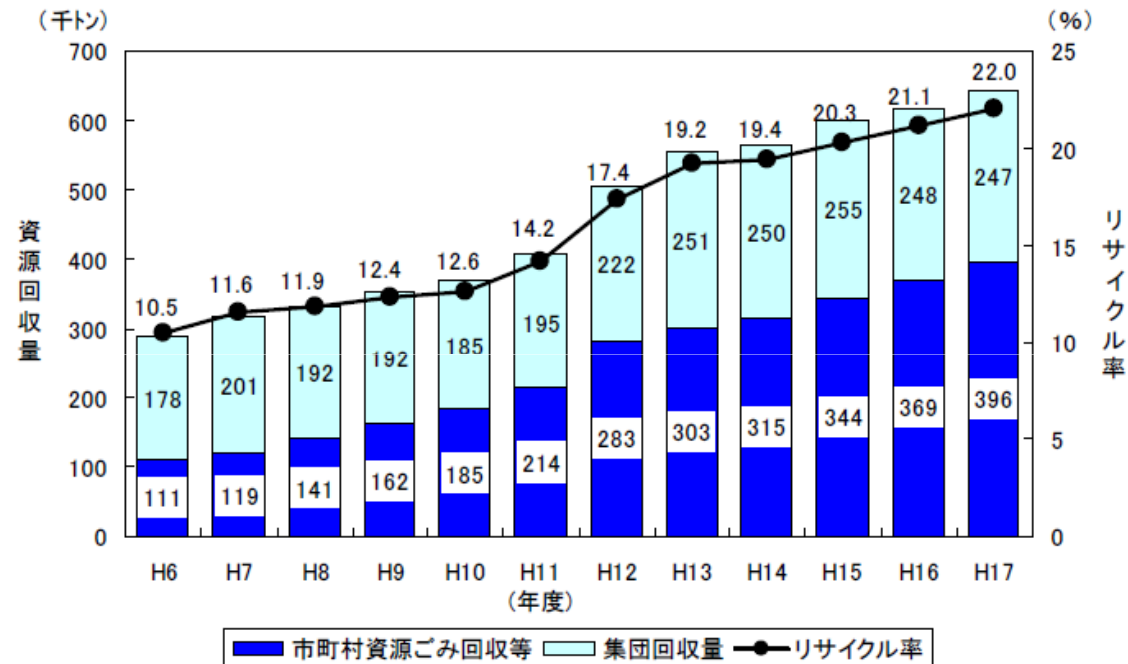


表 一般廃棄物の資源化率

年度	愛知県	全国平均
H. 11年度	17%	15%
H. 17年度	22%	19%



あいちエコタウンプラン

環境と経済が好循環するモノづくり県をめざして

<策定> 平成16年9月

<目的>

地域の特性を踏まえ、先導的で効果的なリサイクル施設の設置を促進するとともに、循環ビジネスの普及・振興を図ることによって、環境と調和したまちづくりを推進する。

<対象地域> 県内全域

先導的・効果的な循環ビジネスとは？

処分料金に頼ったリサイクルから、

資源として活用する循環ビジネスへ

<先導性>

技術もしくはビジネスモデルの先導性

<環境負荷低減効果>

- ・リサイクル量拡大、最終処分量削減
- ・物質収支、エネルギー収支

<事業性・持続性>

- ・製品の市場性・優位性
- ・原料（廃棄物）の安定確保
- ・事業採算性



<地域性>

産業技術の集積、廃棄物の特性そして万博の成果など、地域資源の活用



「あいちエコタウンプラン」の 先導的・効果的循環ビジネス

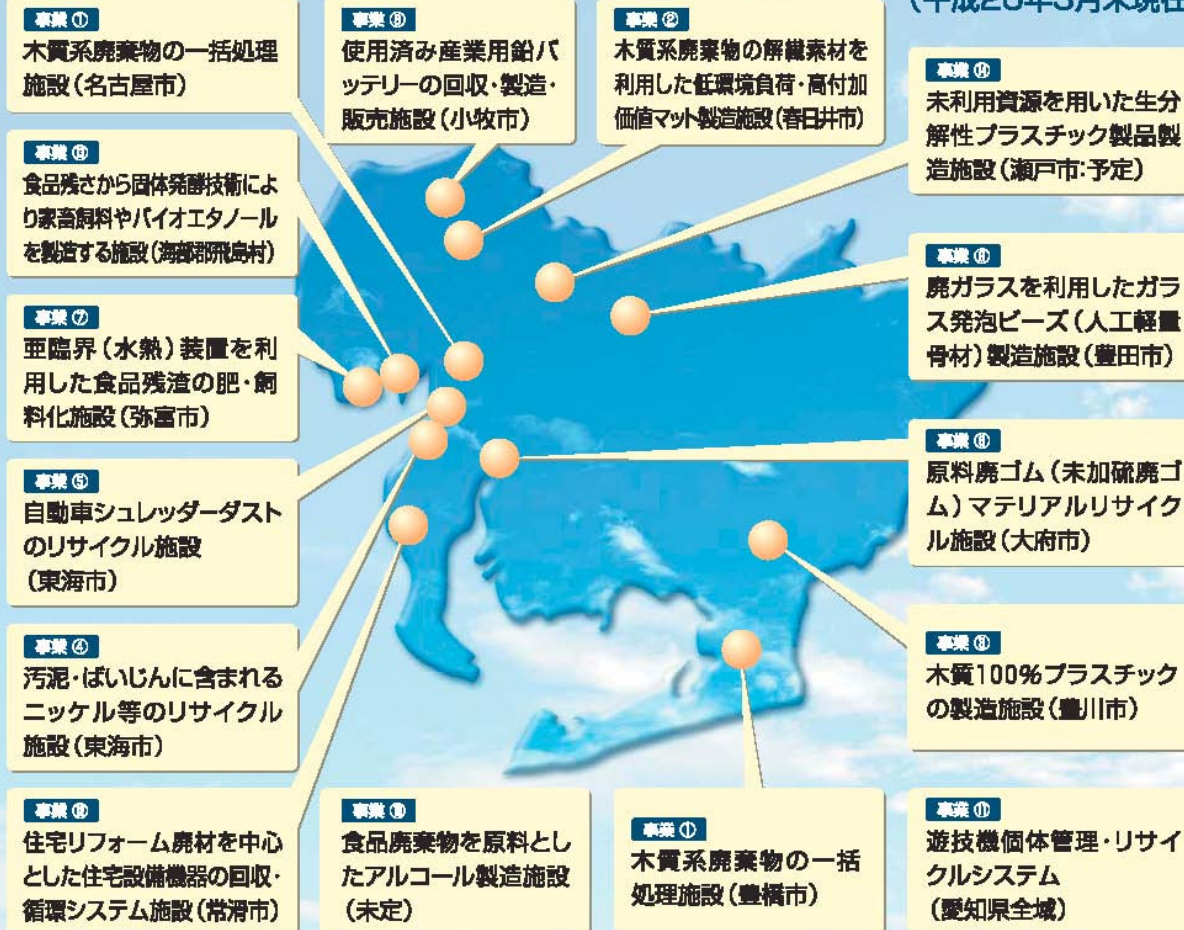
(平成20年3月)

- 1) 木質系廃棄物の一括処理施設
- 2) 木質系廃棄物の解繊素材を利用した低環境負荷・高付加価値マット製造施設
- 3) 木質100%プラスチックの製造施設
- 4) 汚泥・ばいじんに含まれるニッケル等のリサイクル施設
- 5) 自動車シュレッダーダストのリサイクル施設
- 6) 原料廃ゴム(未加硫廃ゴム)のマテリアル・リサイクル施設
- 7) 亜臨界(水熱)装置を利用した食品残渣の肥・飼料化施設
- 8) 使用済み産業用鉛バッテリーの回収・再生・販売施設
- 9) 廃ガラスを利用したガラス発泡ビーズ(人工軽量骨材)製造施設
- 10) 食品廃棄物を原料としたアルコール製造施設
- 11) 遊技機個体管理・リサイクルシステム
- 12) 住宅リフォーム廃材を中心とした住宅設備機器の回収・循環システム施設
- 13) 食品残さから固体発酵により、家畜飼料やバイオエタノールを製造する施設
- 14) 未利用資源を用いた、生分解性プラスチック製品製造施設

エコタウン事業の分布状況

＜エコタウン施設（先進的・効果的リサイクル施設）の状況＞

（平成20年3月末現在）



あいち資源循環推進センター



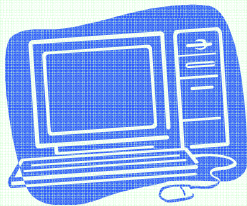
循環ビジネス創出コーディネーター

企業出身の循環ビジネス創出コーディネーターが相談・指導



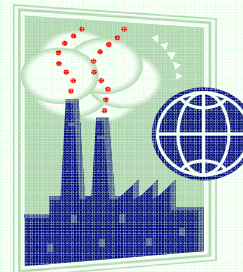
循環ビジネス創出会議

大学や企業による共同研究・共同事業のマッチング



資源循環情報システム

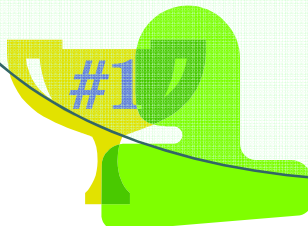
循環ビジネス創出の基礎となる情報を提供



事業化支援

先導的・効果的循環ビジネスの事業化を財政的に支援

- ・事業可能性検討費
- ・リサイクル施設整備費



愛知環境賞

環境負荷低減に向けた、優れた技術・事業・活動・教育を表彰



循環ビジネス創出コーディネーター

- 企業において循環ビジネスの企画・事業化に豊富な経験を持つ人材7名(常勤3名、非常勤4名)を、(財)名古屋産業科学研究所を通じて、資源循環推進センターの常勤コーディネーターとして委嘱
- 主な業務
 - ・企業からの技術、事業化の相談指導
 - ・資源循環推進センター業務の助言指導
 - ・県や国などの支援を受けるための助言

循環ビジネス創出会議



- 企業などが自由に参加できるプラットフォーム会議
- 学識経験者のコーディネートの下、循環ビジネスの事業化に向けた相談や共同研究などのマッチング機能
(公開討議方式・個別相談方式)

＜対象廃棄物＞・・・最終処分量の多い廃棄物7品目
汚泥、ばいじん、がれき類、廃プラスチック類、ガラス・陶磁器
くず、木くず、一般廃棄物

資源循環情報システム



<物質フロー解析システム>

- ・我国で初めて、物質フローの作成・解析システムを構築
- ・資源循環型社会の実現状況を把握
- ・循環ビジネスプランの効果予測(物質収支・エネルギー収支)
- ・企業の環境レポート等への活用(業界全体との比較)

<資源循環情報データベース>

廃棄物の排出分布・排出状況(量、状態、組成など)及びリサイクル産業の分布・事業状況をデータベース化して情報提供。

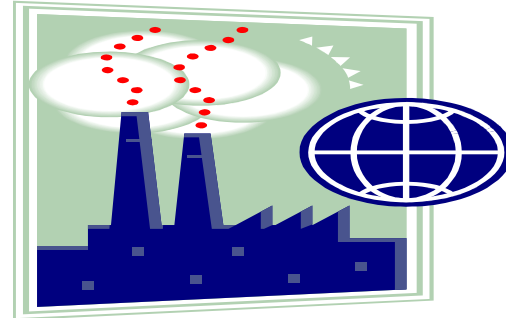
<エコプロジェクトファイル>

企業などで行われているライフサイクルアセスメントなど、先進的な環境行動に関する情報をデータベース化して提供。

<資源循環学習ゲーム>

子ども達がゲームなどで遊びながら資源循環について学べるコンテンツをインターネットで提供

事業化支援



先導的・効果的循環ビジネスの事業化に要する経費に対する補助

・・・産業廃棄物税を活用し愛知県独自で実施

事業可能性検討

<対象>

- ・ 事業効果予測
- ・ 市場調査
- ・ 事業化課題検討
- ・ リサイクル工程最適化
- ・ 事業計画策定

<補助率等>

大企業1/3
中小企業1/2
限度額3,000千円

リサイクル施設整備

<対象>

効果、先導性、持続性を併せ持つリサイクル事業に要する施設の整備

<補助率等>

大企業1/3
中小企業1/2

限度額50,000千円

愛知環境賞



- 資源循環及び環境負荷低減に向けた、企業、団体及び県民による、先駆的で効果的な＜技術・事業・活動・教育＞を募集し、優れた事例を表彰。
- 実施済の事例だけでなく計画中の事業（循環ビジネス）をも対象とし、優れた計画には事業化支援。

選考のポイント

- 先駆性・独創性 技術・事業・活動・教育の先駆性・独創性
- 環境負荷低減効果 資源循環や環境負荷低減の波及効果
- 協働可能性 行政施策との連携、協働可能性及び影響
- 社会性・波及性 社会全体の環境行動促進に向けた啓発効果、アピール度

● ● ● 2005年日本国際博覧会(愛知万博)

史上初の環境博となった愛知万博では、「自然の叡智」をテーマに、環境に配慮した会場づくり、環境負荷の少ない交通システムや新エネルギーの導入、企業や市民の樹種的な参加による環境への様々な取り組みを展開。

テーマ : 自然の叡智

サブテーマ : 宇宙、生命と情報

人生の“わざ”と知恵

循環型社会

開催期間 : 2005年3月25日～9月25日(185日間)

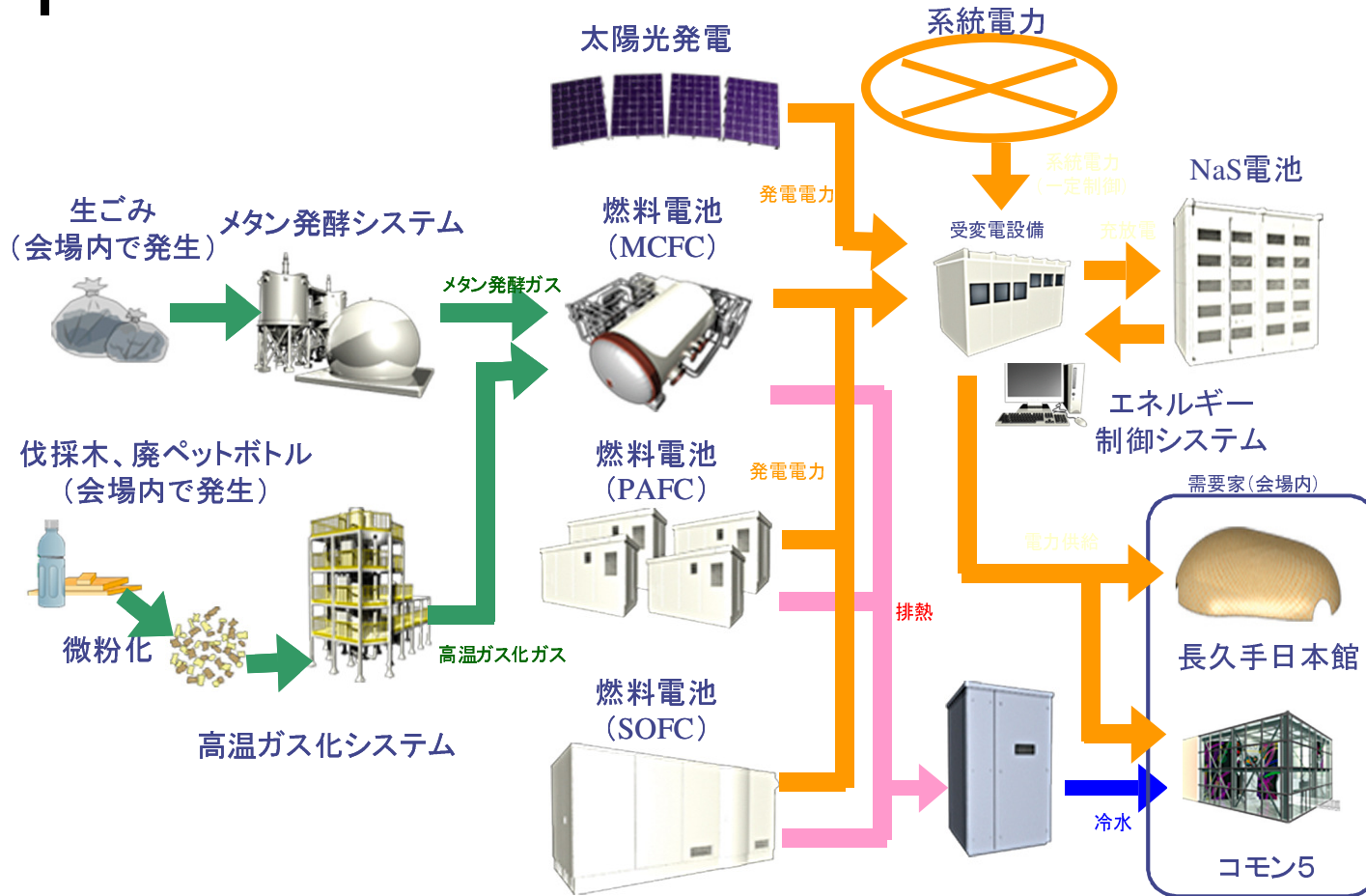
開催場所 : 名古屋東部丘陵(長久手町・豊田市・瀬戸市)

総入場者数 : 22,049,544人

公式参加者(国及び国際機関) : 125(国 : 121、国際機関4)



未来を先取りした、地域内資源循環とエネルギー供給システムの先導的導入



新エネルギー実証研究(マイクログリッド)のシステムフロー



あいちゼロエミッション・コミュニティ構想

環境と産業と暮らしが調和する、
快適で安心な地域そだて

あいちゼロエミッション・コミュニティ構想

《環境の持続可能性》

「快適な環境の保全を可能とする社会」づくり

環境と産業と暮らしが調和する
快適で安心な地域そだて

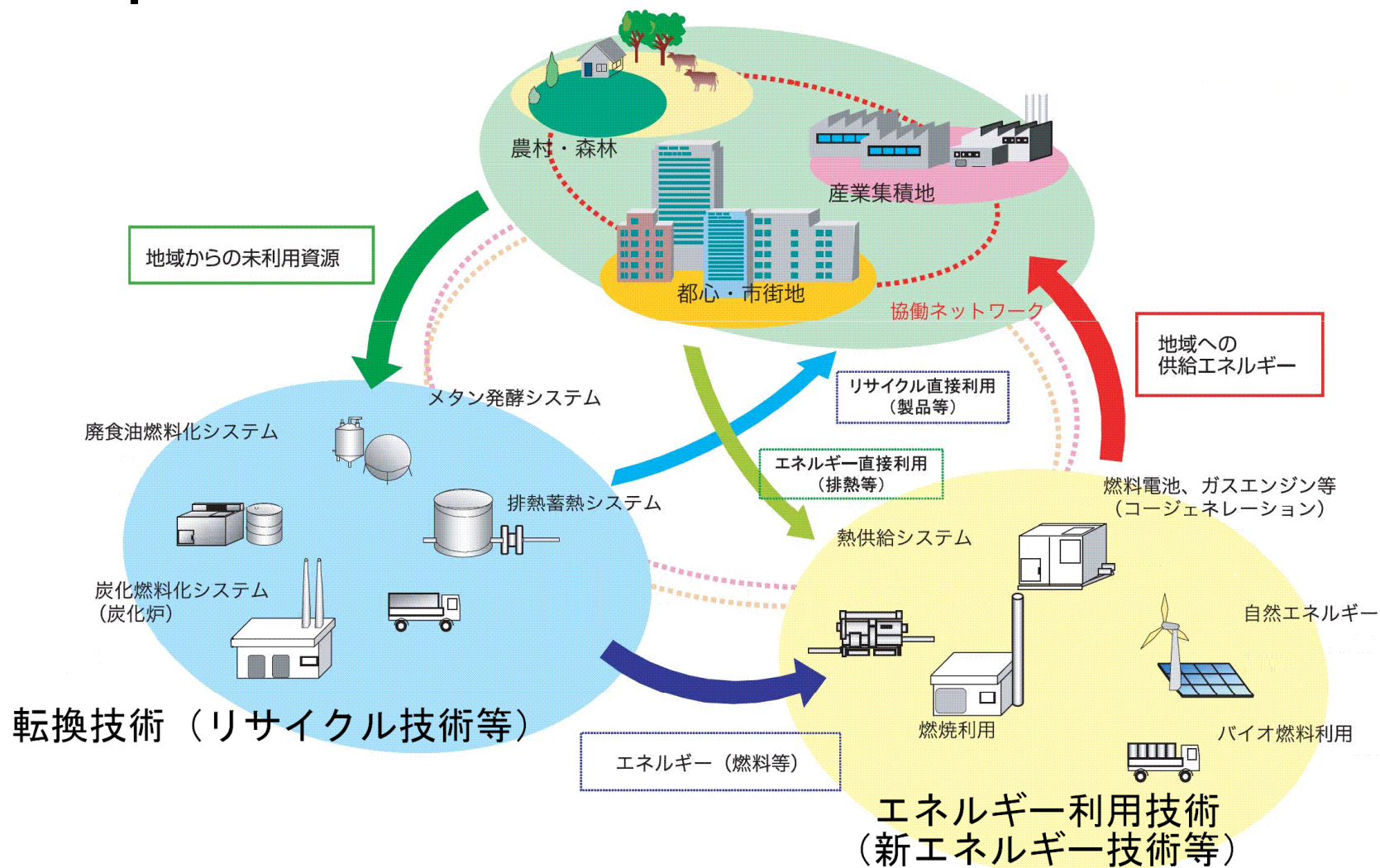
《産業の持続可能性》

「経済の成長と活力の維持を可能とする社会」づくり

《暮らしの持続可能性》

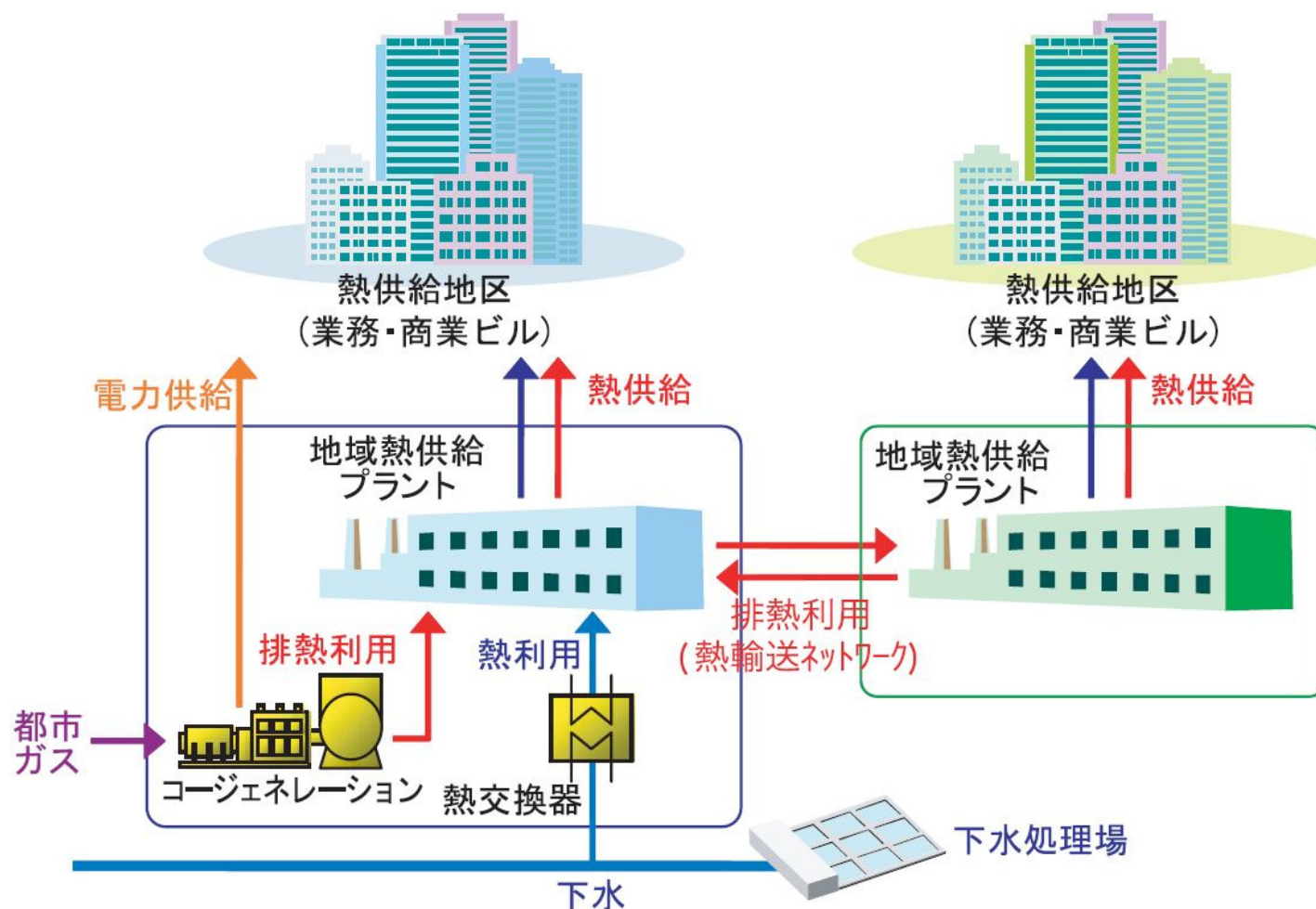
「安全・安心な暮らしの維持・発展を可能とする社会」づくり

「ゼロエミッション・コミュニティ」の技術とシステム

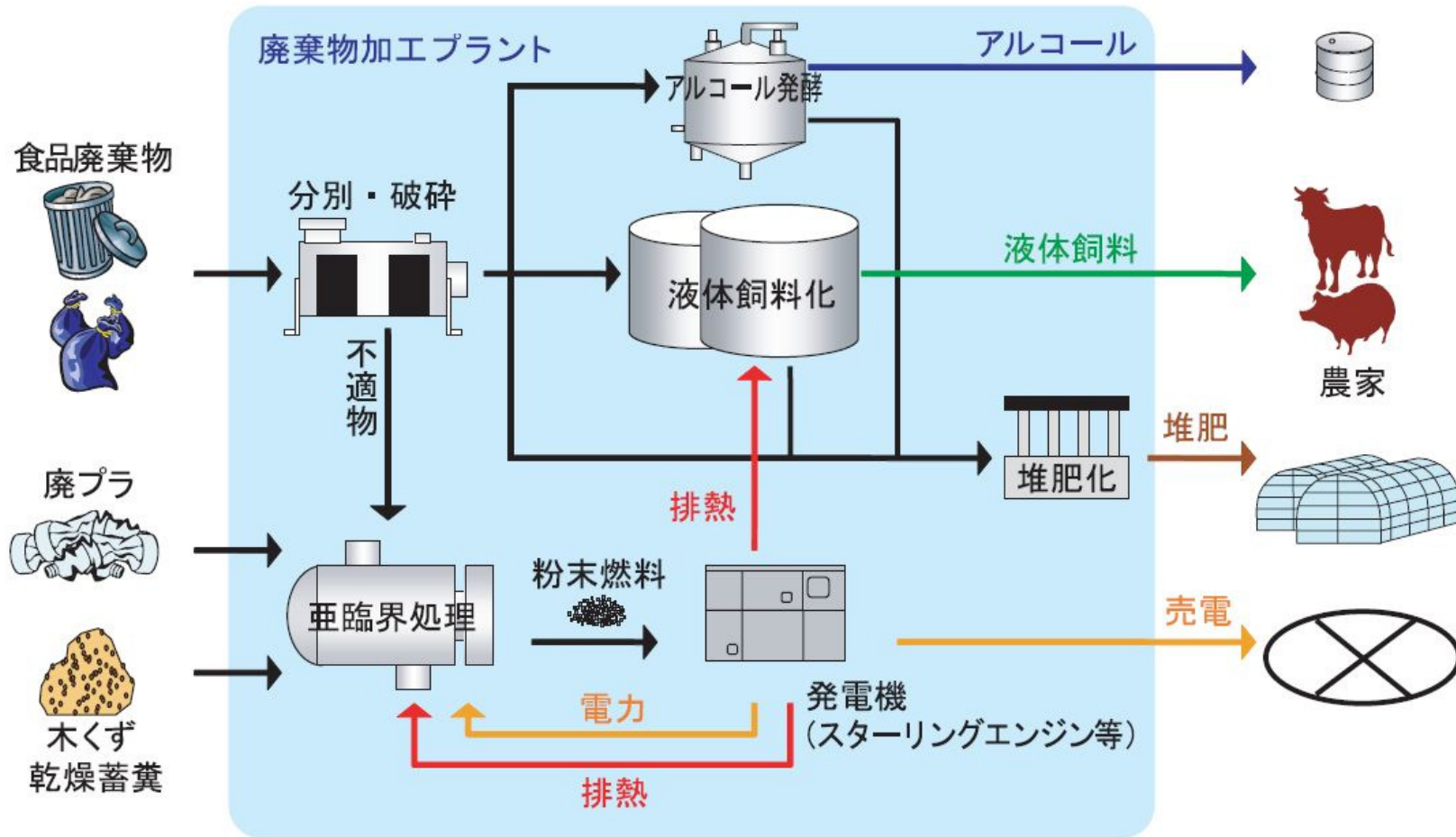


事業モデル①

地域冷暖房のネットワーク化事業

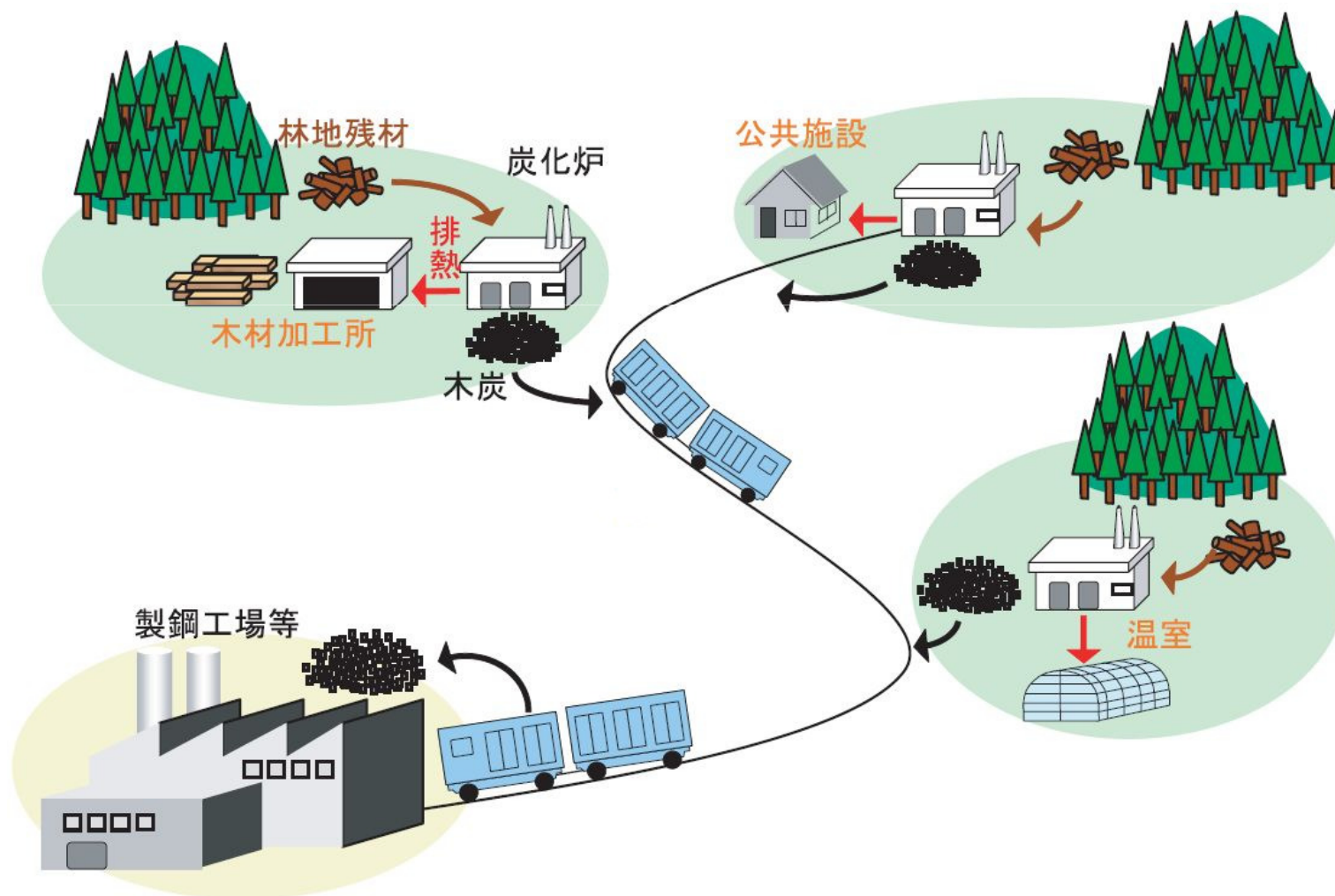


事業モデル⑦ 食品廃棄物の多目的利用



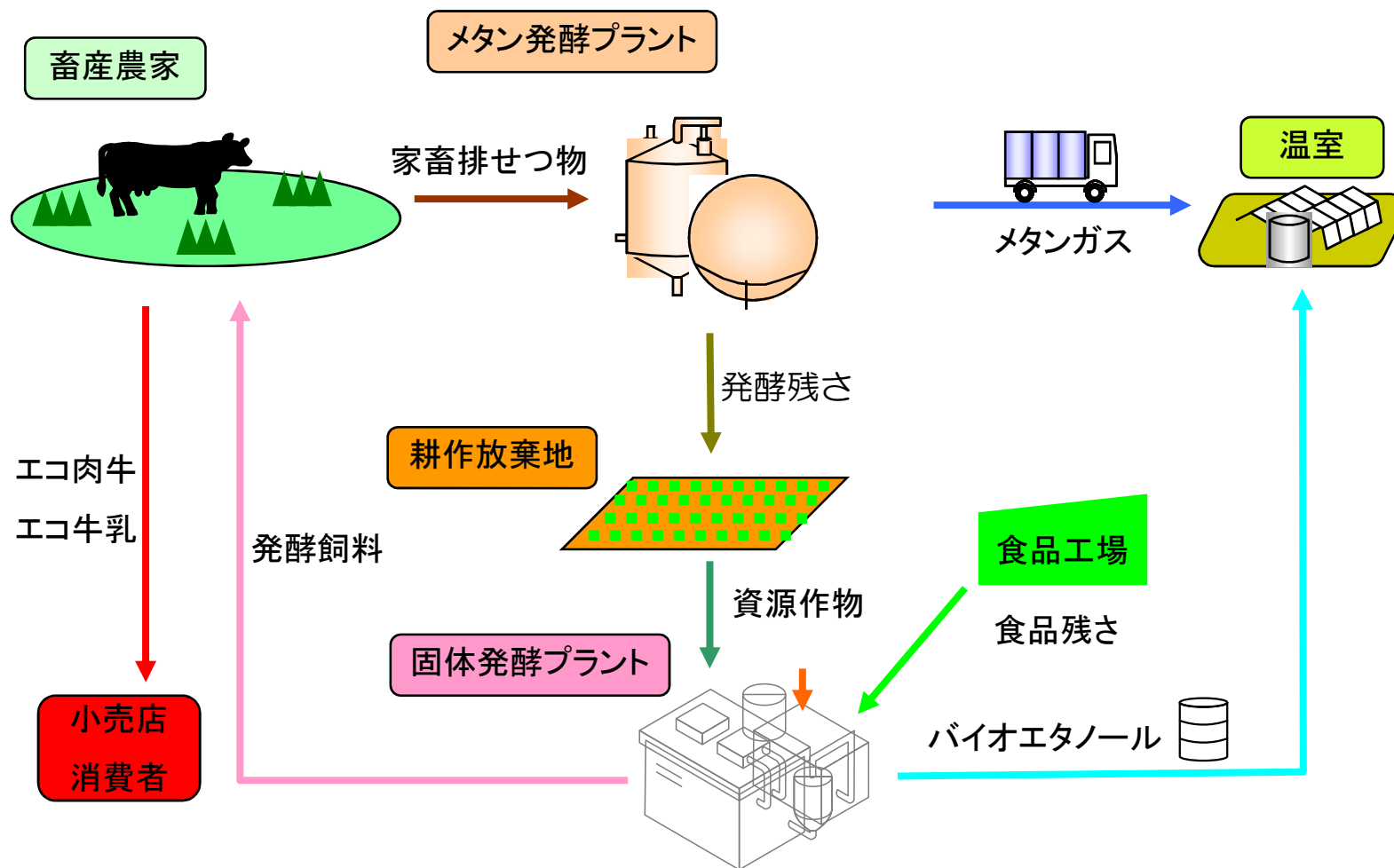
事業モデル-⑧

木質バイオマスの製鋼原燃料利用

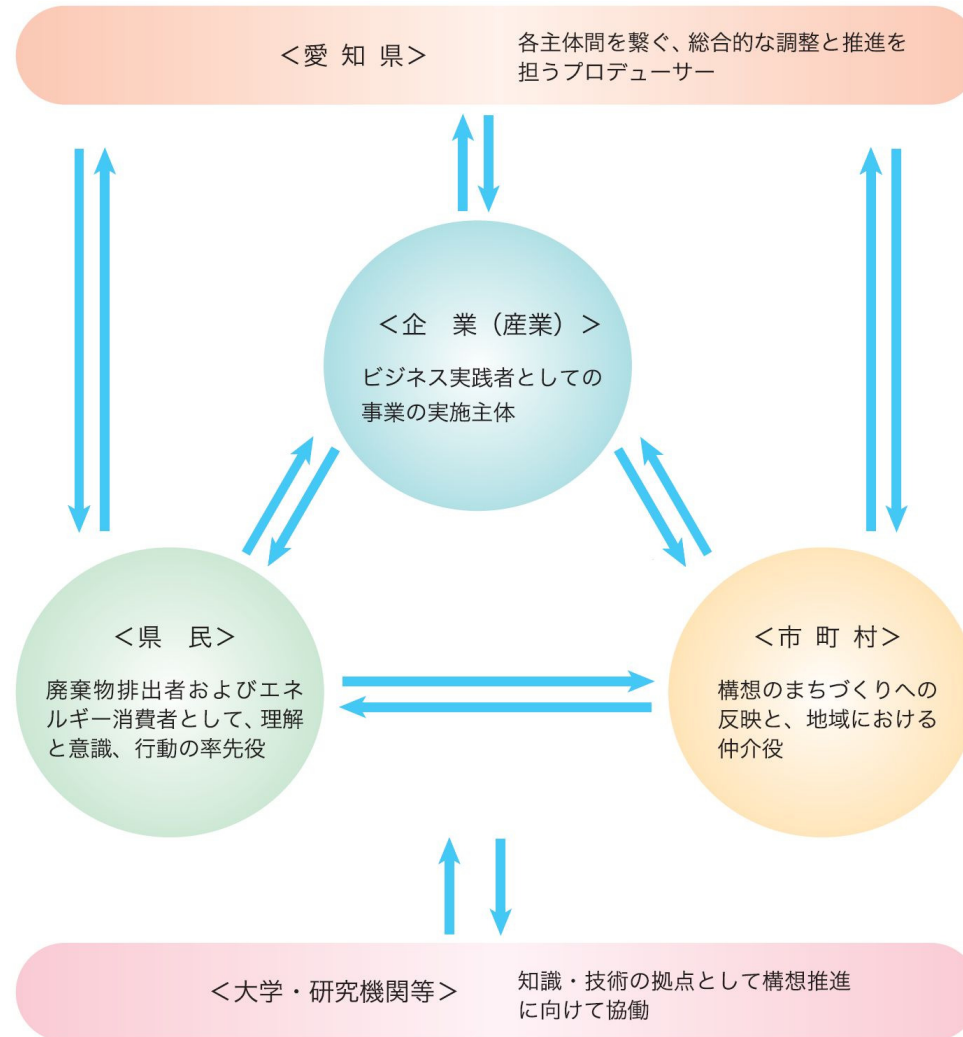


事業モデル⑨

廃食油・家畜排せつ物を活用した地域循環ネットワーク事業



愛知県の役割と各主体への期待



「あいちゼロエミッション・コミュニティ構想」の目指す社会の実現

